

令和3年度 新発田市立佐々木中学校グランドデザイン

生徒の実態

- 素直で前向きな態度
- 基本的な生活習慣の定着
- 明るい挨拶、素晴らしい歌
- △主体的に行動する力
- △他者を理解する力
- △困難に立ち向かう力

保護者地域の願い

- 生徒の自立（保護者から）
- 安全・安心で安定した学校（保護者・地域から）
- 地域活性化への貢献（地域から）

各指針等から

- 自立した人間として、主体的に判断し、多様な人と協働しながら新たな価値を創造する人（国）
- ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひと（県）
- 新発田への愛着と誇りをもち、夢や希望に向かって、学び続ける子ども（市）

<教育目標>

よく考え、進んで実践する生徒

<重点目標>

主体性と協働性を身に付け、最後までやり抜く生徒の育成
～ 豊かな体験活動と振り返り活動を通して ～

知育 目的を共有し、見通しをもち粘り強く課題に取り組む生徒の育成

- 学習アンケートで「授業に意欲的に取り組んだ」と肯定的な回答する生徒の割合を全教科で全校平均80%以上にする。
- 学習アンケートで「授業がよく分かる」と肯定的な回答をする生徒の割合を全教科で全校平均80%以上にする。

- 新発田市授業スタンダードに基づき、毎時間「ねらい」「流れ」を掲示して授業を行う。
- 生徒が学びを認知し、次の学習意欲につながるように単元や時間毎に授業の振り返りを行う。

- 新発田市授業スタンダードに基づく授業改善チェック表による自己点検を行う。
- 全教員が複数の授業を参観する。参観後は、参観カードを記入する。参観カードは研推が集約し職員に回覧する。

徳育 認め合い、協力し合い、高め合える生徒の育成

- 「自分の良さを見つけ、自分を伸ばす」と肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。
- 「他の人の立場や気持ちを思いやる」と肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。
- 「自分からあいさつする」と肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

- 諸活動で生徒個々に役割を与え、自己評価や相互評価を含む振り返りを行うなど自己有用感を育成する活動を推進する。
- あらゆる交流活動にSEGやFTの活動を適宜取り入れ、他者を理解し認める活動を推進する。
- 生徒が主体的となるあいさつ運動を推進する。

- 振り返り用紙をすぐに職員に回覧し共有する。その情報を基に生徒の頑張りを称賞する。
- 職員間で、SEGやFTの取組の情報の共有を図り、より効果的に活動を営めるようにする。
- あいさつに対する職員の意識の高揚を図る。

体育 心身ともに健康でたくましい生徒の育成

- 体力テストの記録が、4種目以上、前年度の自分の記録を更新する。
- 秋に行う2度目の計測で、3種目以上、春の記録からさらに更新する。
- メディア使用時間の平均が平日で2時間以内、休日で3時間以内と回答する生徒の割合をそれぞれ80%以上とする。

- すべての部活動で週1回、体力を高めるサーキットトレーニングを取り入れる。
- 全校で毎学期、メディアコントロールを意識させる機会を設ける。

- 体力トップ10の掲示を春と秋の2回実施し、記録向上の意識付けとする。
- 取組の内容や結果を、ほけんだよりや掲示物を通して職員や保護者に公表する。

【地域との連携】地域のよさを知り、誇りに思える生徒を育成します。

【関係機関との連携】学校間、地域組織、行政等と連携し多様な体験活動を実施します。